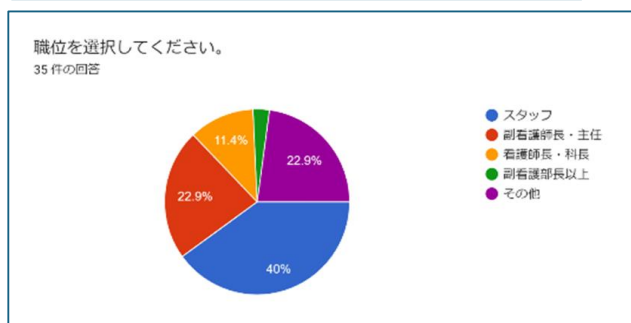
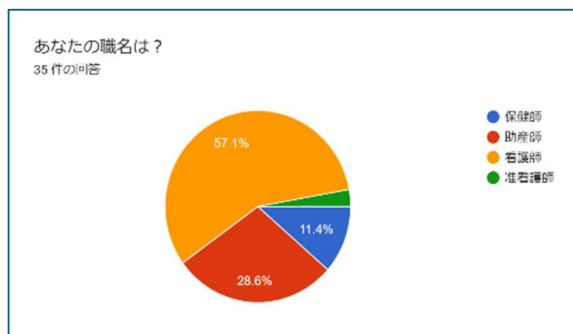


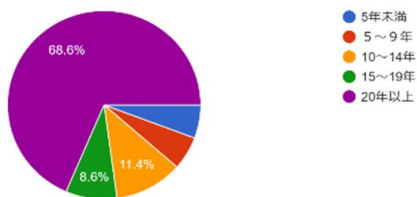
研修名	3職能合同集会「災害に備えて3職能が今できることを考える」	
開催日時	令和6年 7月 28日(土) 13:30~16:30	定員 100名
研修形態	集合	
受講者数	総数48名(保健師 9名 助産師 10名 看護師 26名 准看護師 2名 その他 1名) (会員 38名 非会員 10名)	
対象	保健師・助産師・看護師・准看護師	
ねらい	能登半島地震が発生した今年、南海トラフ地震等の災害に備え、災害支援の経験等をもとに『今できること』をともに考え共有する	
話題提供	保健師職能: 幡多福祉保健所 濱田 梓 (保健活動チーム) 助産師職能: 高知赤十字病院 向井 直美 (周産期リエゾン助産師) 看護師職能: 高知医療センター 大坪 将也 (日本DMAT)	
内容	13:30~開会 13:45~「災害に備えて3職能が今できることを考える」 (1)話題提供: 災害支援活動を行った看護師等3名 (2)グループワーク・全体会 15:45~まとめ	

I アンケート結果

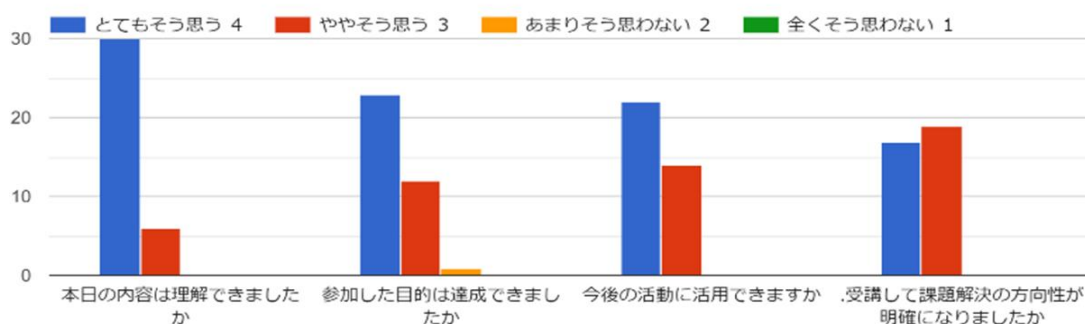
1 参加人数48名 回答数 36名(属性無回答 1名)



経験年数を記載してください。
35件の回答



II - 1 合同集会内容の理解度

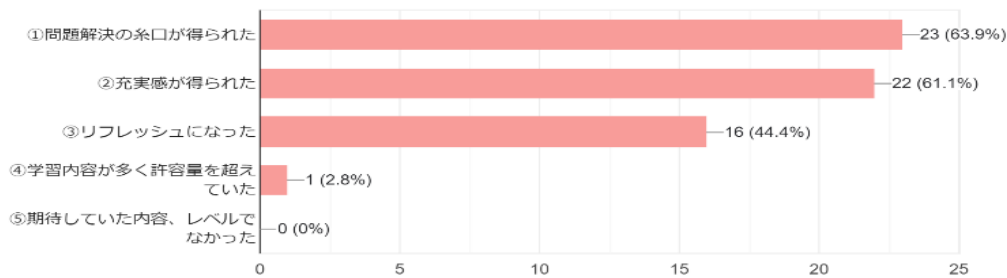


【そう思う理由】

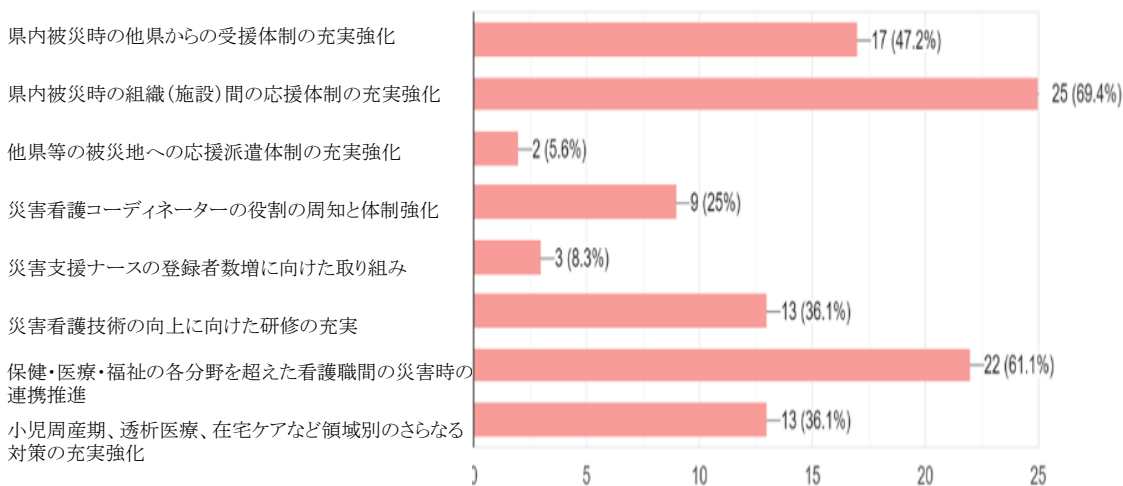
- ・三職種それぞれ違う立場の取り組みや状況が理解できた。
- ・実際に災害現場で体験されて感じたことを共有してもらい、今後活かせるのではないかと考えた。また、他職種、他施設の方と実際に会って話をすることが、今後、発災時に役立つのではないかと思う。
- ・病院、施設、行政の連携と共通のマニュアルが必要と思う。
- ・発災時に地域で力になりたいと看護師が言ってくれ、非常にありがたく心強く感じた。地域で生活する看護職と行政の連携の仕組みがあると良いと思った。また、行政の役割は大きいと感じ、今日の研修を振り返り、できることを職場で考えたい。濱田さんの話題提供が非常にわかりやすく、考えさせられた。
- ・発災時の行動を患者、スタッフ共に慌てずできるために、いかにコミュニティや地域資源を活用するのか勉強になった。
- ・被災地での経験を聞く事で、災害対策についてイメージを持つことができ、今、必要な具体策を考えることができた。グループワークでは、様々な病院の対策に加え、自分たちが職場外でも活動できるようにするための意見交流が出来て良かった。
- ・他院や他職種の多方面からの意見を聞くことができ、何をしなくてはならないのか分かってきた。
- ・組織の中でポジションがないとできないことがある。まずは個人的にできることから取り組みたい。
- ・現地での状況を聞いた事で、実際に優先すべき問題、不足していた情報を得られて、早速対策の見直しに役立った。
- ・災害時の小児周産期リエゾンの役割や災害時に実際何が困るのかなどが知ることでよかった。
- ・話題提供や、グループワークで触れた内容について、これまであまり意識しなかった事柄を考えるきっかけになった
- ・参集途上や現場活動中の問題点が理解でき、訓練の企画立案、実災害時活かせると思った。

Ⅲ. 集会全体を通じた感想を該当するものすべてにチェックして下さい

36件の回答



4 高知県看護協会が行政等と連携して充実強化すべき災害対策について、優先度が高いと考えること(選択3つ)



5 全体を通しての意見・感想

- 最後のグループワークで、色んな環境の看護職がいるので自施設での話を聞いて勉強になった。
- 久しぶりに他施設との情報交換をすると、自施設に足りない部分、問題点が明らかになり、解決の糸口が見えてた。
- 保健師の話を聞いて、情報共有の大切さ、また仕組み化の大変さを感じた。グループワークで色々な話を聞いて、参考になることが多くあった。
- 普段、現場で話す機会の少ない職種と話すことで、自身の業務を振り返ることができ、とてもいい機会となった。
- 災害に対して看護の視点から学ぶことができた。
- 他職種、他施設との方と実際に会って話をするのが、今後、発災時に役立つのではないかと思った。
- 3職種での意見交換は、視点が広がり良かった。
- 行政の果たす役割や検討している内容をもっと発信し、それぞれの機関に伝えることも必要な事であると感じた。それぞれの働く地域の看護職同士が繋がる必要を感じた。
- 貴重な話を聴くことが出来て、有意義な時間を持つことが出来た。他の看護職や病院と意見交流することで、視野が広がり参加して良かった。今後もこのような機会があればよい。
- 災害対策への取り組みとして、自分にできること、自部署でできることを見出すことができた。危機感を持ち、病院としての取り組みを早急に始める必要があると感じた。
- 会場の感染対策も大変だと思うが、やはり集合研修のメリットは大きいので、テーマによっては集合を増やしてほしい。

II 事業評価

3職能合同集会では、看護職が領域を超えて取り組むべき課題をテーマに集会を実施している。今年度は、能登半島地震から半年のタイミングであったことから、南海トラフ地震対策への備えをテーマとし、中でも受援体制の構築に焦点を当てた。参加者からは、他の職能の活動を知ることによって視野の広がりや日ごろの連携の必要性を強く認識した等の感想が聞かれた。また、自組織で準備すべきことへのヒントを得て、職場での実践に意欲が示された。

今後も3職能合同集会については、看護職全体で取り組むべき課題をテーマとして、その課題に対し各職能の取組などを共有することで、看一看護連携や看護職の役割拡大の推進につなげていきたい。